

社協とやま

発行 戸山学区社会福祉協議会

編集 広報部会

戸山学区社会福祉協議会の10月20日の思い

戸山学区社会福祉協議会 会長 荒木隆三

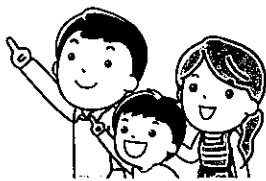
令和二年戸山社協の計画は

- 一、たすけあいのまちをつくらう
- 二、一人ひとりの暮らしをささえあおう
- 三、活動を進める体制を強化しよう(いきいきサロンなどの三つの柱と「住民主体型生活支援訪問サービス」「夏休みこどもサロン」「修道大学との交流」などを中心に推進する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響により、事業の開催を縮小や延期又は中止する状況に追い込まれています。

当初、夏ごろには収束するのではないかとこの観測もあつたが、八月現在では歯止めがかからない。地球の歴史が始まって以来およそ46億年という進化の過程で誕生した生命は、5回の大量絶滅で99%が死滅したが繁栄と絶滅を繰り返し、現在の多様な生命で満ち溢れている。

人類がウイルスの存在に気付いたのは、たかが百年前と言われている。中世(14世紀)のペストの流行は、当時の世界人口の四分の一が死亡した。ヨーロッパ社会で絶大な権威を誇っていた教会は、流行をおさえる事が出来ず統治者としての信頼を失墜し、民衆による近代化が始まるきっかけともなった。今回の新型コロナウイルス禍は、経済発展至上主義から地球環境に適応し、自然との共生のみちを模索する生き方の始まりとなるのか？

この国の片隅に生活する一人として、手洗いうがい等を着実に実行し、自分が感染しない、人に感染させない。「向こう三軒両隣」ささえあいのまちづくりを進めることで希望の光を求めたい。



役員名簿(理事・監事・顧問) 令和2年度

役職名	氏名	備考
会長	荒木隆三	ボランティア
副会長	内藤正芳	阿戸下町内会会長
事務局 長	有馬秋雄	ボランティア
地域福祉推進委員	山本義宏	下吉山町内会会長
事務局 担当	田中秀昭	上吉山町内会会長
地域福祉部会会長	林眞知子	民生委員・児童委員
高齢者福祉部会会長	田中初恵	民生委員・児童委員
障害者福祉部会会長	向殿基子	民生委員・児童委員
児童福祉部会会長	原尻祐里	主任児童委員
広報部会会長	石本智富	ボランティア
ボランティア委員会委員長	二反田豊子	女性会会長
理事	岡本昭宏	戸山地区青少協会長
理事	荒木智子	子ども会連合会会長
理事	瀬川雄一	小・中学校PTA会長
理事	二反田正康	民俗資料保存会会長
監事	森岡恵隆	人権擁護委員
監事	浅元恒夫	中王町内会会長
監事	梶 達雄	緑ヶ丘町内会会長
顧問	大中稔文	大中医院院長
顧問	衣笠正憲	戸山学区町内会連合会会長
顧問	久都内文治	戸山小中学校校長(兼務)
顧問	寄元正勝	ボランティア

事務局・部会構成

令和2年度

事務局

有馬秋雄 田中秀昭

部会名・正副会長

町内会

民児委員

協力委員

女性会

関係団体他

地域福祉部会

会長 林真知子 (民児委員)

副会長 二反田正康 (民俗資料保存会)

森野 敏章

柳川 茂明

若田 道定

伊藤 陽子

寺田 勝彦

藤田美智子

住本 綾子

新本 量子

品川 富弘 (老人会)

高齢者福祉部会

会長 田中初恵 (民児委員)

副会長 有馬敏彦 (老人会)

森永 正司

原田 一春

竹内 隆巳

沖原真須美

久保真佐子

若狭 次江

有馬久美子

藤井 和子

竹尾 峯人 (老人会)

足門 邦治 (老人会)

立花 芳明 (老人会)

障害者福祉部会

会長 向殿基子 (民児委員)

副会長 衣笠文江 (民児委員)

谷 清文

山中 光彦

神中 豊明

谷本 安弘

榎 照子

市原 厚子

半田みどり

児童福祉部会

会長 原尻祐里 (主任児童委員)

副会長 石本知美 (主任児童委員)

水本 京子

向井みつ子

竹元 幸子

荒木 智子 (子ども会連合会)

瀬川 雄一 (PTA)

広報部会

会長 石本智富 (ボランティア)

副会長 柳川利彦 (ボランティア)

橋本 宏一

濱廣 昭義

澤本 恵子 (ボランティア)

中川 郁子 (ボランティア)

岡本 昭宏 (青少協)

ボランティアバンク 運営委員会

委員長 二反田豊子 (女性会)

副委員長 玉垣哲治 (ボランティア)

畠岡 真積

川隅 寿子

伝統の戸山女性会

会長 一二反田豊子

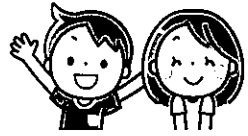
コロナによる自粛生活が続く中、私事ですが、楽しみはNHKの朝ドラ「エール」を見る事でした。主人公の母親役、菊池桃子さんの講演を一昨年の子女連女性大会で聞き、親しみを感じています。とても綺麗な方で、障害のある子供を一人育てながら大学に進学し、女優、大学の客員教授をされている生き様に感動しました。女性会の活動を通じて、世間を広くさせてもらっています。

地域にあつては、社協、町内会、学校、公民館などと連携して活動しています。

ところで、戸山の女性会はいつ頃できたのでしょうか？結成は昭和6年5月1日と伝わっています。来年は市女連加入50周年を迎えます。コロナの影響で活動は制限されるかも分かりませんが、若い方にも目を向けてもらえるような会を目指して、いききたいと考えています。

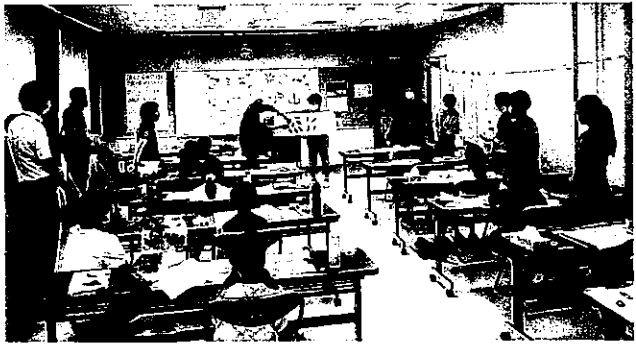
夏休み 子供サロンの開催

事務局 有馬秋雄



今年に入り、新型コロナウイルス感染拡大により日々の生活は激変し、社協活動も大きな影響があり、夏休み子供サロンの実施について心配しましたが、感染防止対策に向き合いながら、民生児童委員協議会の皆様のご尽力により行事の開催ができました。

8月23日(日)は児童参加者28名が午前、午後に分かれ中学生12名のお手伝いのもと藍のたたき染めを行いました。講師の寺田民生委員さんに藍の葉っぱを用意して頂き、生葉をちぎって無地の布へ置き、ビニールをかけて木槌でたたき付けます。すごい音が部屋中に響き、終わったら水で洗って乾かします。子供たちが作り出す模様は感性はすばらしく楽しいものとなりました。中学生のボランティア活動、民児協、青少協、PTA、社協の見守り隊のご協力ありがとうございました。



戸山の戦没者記念碑の 清掃活動

事務局 有馬秋雄

お盆の前8月3日(月)に民俗資料保存会の有志で戸山大橋近くにある戦死者慰霊碑、戦役記念碑、道路改修記念碑の建立地の清掃活動が行われました。暑い中、今年5名で除草や木のせん定作業などが行われ記念碑は県道からもすつきり見えるようになりました。



お盆には、女性会により、戦没者を追悼し平和を祈念するため、献花、灯籠のお供えが続けられています。



ついでにサロンの

岡谷 淑子



令和2年3月より、私と副代表者竹内恵美子さんとで、上垣内いきいき会のお世話をさせて戴く事になりました。前代表者前洋子さんは、平成15年サロン開設以来17年間の長きに渡り、懸命にお世話をしてくれました。皆、感謝の気持ちで一杯です。

今年度、4月・5月は新型コロナウイルス関連で、サロン開催は中止。6月に入り、会員さんの要望もあり昼食なしでの7月開催を決定。サロン当日は、「3密を避ける」「手洗い・マスク・社会的距離」等の感染防止対策を心がけました。内容は折り鶴作り。今年は、千羽鶴の数が例年に比べて少ないとの報道も有った為です。皆さんと会話しながら、真心込めて沢山作りました。「草刈りや草取りは得意なんじゃけど」。鶴は上手いこと出来んよ。」と話された方も、慣れるときれいに仕上がりました。出来上がった物は、女性会役員さんを通して献納をお願いしました。あつと言う間に時間が過ぎ、帰り際

に会員さんが「皆に会って話してストレス解消できたよ。」と話された時は内心ホッとしました。

今後暫くは感染拡大状況の推移を注視しながらのサロン開催となりそうです。何れにしてもボランティアさんと連携し、相談をしながら進めてゆきたいと考えております。

事務局長就任から1年

事務局 有馬秋雄

平成31年4月(令和元年)に開催された理事会において事務局長に選任され、お引き受けることになり、最初の1年間は、平成20年から長きにわたり事務局長を務められ戸山社協に貢献された奇元正勝様のご指導のもと、福祉に関する様々なことについて教えて頂きました。

福祉のまちづくりは「近隣ミニネットワークづくりの推進」「ふれあいいきいきサロン活動」「地域ボランティアバンク活動」の事業が柱となっており、各団体の役員、世話人代表、地域の皆さんで支え助け合い、会員相互の信頼や事業に対する信頼により成り立つもので、利用する方の

様々なニーズや、提供する方の理解と熱意により支えられています。

戸山地区の高齢化率は47%(令和2年)を超え、少子高齢化が今後さらに進行し、家族機能の低下や地域のつながりが希薄化するなどの心配もあります。これまでご尽力されてきた各団体の役員、世話人代表、地域の皆様の福祉活動の取り組みに感謝し、地域に根差した福祉のまちづくりの三つの事業を継承し、ささえあいの輪が広がるよう、皆様のご支援ご協力を得て事業の進展に努めて参りますのでよろしくお願いいたします。

善意銀行への御寄付

ありがとうございました

令和二年三月から八月三十一日まで (敬称略)

◆香典返しにかえて

町内会	寄付者名	物故者名
阿戸	衣笠昭彦	衣笠泰子
中王	吉岡 洋	吉岡トヨコ
中王	見谷勇治	見谷映子
下吉山	上迫鈴江	上迫主則
上吉山	倉石知子	倉石英治

◆一般寄付

町内会	寄付者名	阿戸	杉本照義	杉本秀子
阿戸	竹原 裕	下吉山	市場勝子	市場政信
西区	城山真純	下吉山	三宅信雄	三宅シズ子
中王ほか	荒木隆三ほか四名	下吉山	岩森憲雄	岩森ミユキ
		下吉山	竹元英仁	竹元ミスズ

編集後記



新型コロナウイルス感染、日本各地での大水害、或いは熱中症などで沢山の人が尊い命を亡くされました。又コロナウイルスの関係で県外からの帰省客もなく大変寂しい盆でした。

これからは3密を避けながら行動し、早く平安になってほしいものです。広報部を長い間、担当されました藤田道雄、大中千代和さんが退任されました。大変ご苦労様でした。今年度より柳川利彦、岡本昭宏さんが入れられました。これからも皆様方の力を借りながら地域の情報等を色々分かりやすくお知らせしたいと思います。広報部よりよろしくお願いいたします。